

## 選択科目(地理歴史) 日本史

〈出題内容・形式・配点〉\*出題内容、問題番号、配点は2月2日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 旧石器～弥生時代の考古学的遺物	記述	40	80分
II 院政期～江戸時代の朝幕関係	記述	30	
III 近代産業史	記述	30	
合計		100	

### 【出題の基本方針】

基本的には教科書を中心とした学習を積み重ねることによって得点できる内容・レベルの出題とした。一部、教科書には掲載されていない史料を使用するなど難易度が高くなっている問題もあるが、設問や選択肢の内容をよく読み、教科書レベルの内容を理解していれば解答できるように工夫した。

出題範囲は、基本的にIは原始・古代、IIは中世・近世、IIIは戦後史を含む近現代史とし、複数の時代をまたぐ総合的問題やテーマ出題もおこなった。また、史料・図版・写真などを使用した設問など、歴史用語・人物・年代の丸暗記ではなく、歴史の流れや知識を論理的に考えることで正答に至るように工夫した。

### 【学習のポイント】

- ・政治・経済・社会・文化史などの諸分野を幅広く学習することが重要である。
- ・教科書を中心に諸事件・事象の流れと関係を論理的・文脈的に把握することが重要である。それと同時に教科書や史料集に所載されている図版・表・写真などにも注意を向けてほしい。
- ・史料集と教科書を併用することは極めて効果が高い。また歴史地図などにも親しみ、地理的・立体的な知識の習得を心掛けてほしい。
- ・漢字のミス、不正確な記述が目立つ。事象・人名などを含めた歴史用語は正確な漢字を書く力を養う必要がある。
- ・近年戦後史の問題も一定程度の割合を占めている。今後はその系統だった正確な知識の習得が必要となるであろう。